

安来市長 近藤宏樹 様

安来市民会館（仮称）
建設に関する提言書

平成25年10月

安来市民会館建設検討委員会

平成25年10月21日

安来市長 近藤 宏樹 様

安来市民会館建設検討委員会
委員長 石橋 富二雄

安来市民会館（仮称）建設について（提言書）

平成25年7月3日付けをもって、安来市長から「安来市民会館建設検討委員」の委嘱を受け、2回の行政視察と5回の検討委員会を開催し、安来市民会館（仮称）基本計画について議論を行ってまいりました。その内容を踏まえ次のとおり提言します。

安来市においては、このたび合併特例債の発行期限延長により、切川地区での安来市民会館（仮称）建設を決定され、平成25年6月には安来市民会館（仮称）基本構想を策定されました。

現在の安来市民会館は、昭和41年に建設された建物であり築後46年を経過しています。さらに建物の耐震性の不足、天井部分へのアスベストの使用といった安全性の問題を第一として、高齢者、障がい者へも配慮したバリアフリーに関する設備の不備、舞台設備（音響、照明等）の老朽化、駐車場の慢性的な不足等、様々な問題を抱えています。

そうした中、新たに計画される安来市民会館（仮称）に対し、市民は大きな期待を寄せています。基本構想の理念にもあるように、

<演じる>	市民が輝き、いきいきとした活動の表現の場となる
<観る・聴く>	市民の交流の場となり、多様な文化に触れることができる場となる
<集う>	新しい安来の顔となり、市民が気軽に、楽しく訪れることができる場となる

ことが期待されます。

そういった視点から、検討委員会では2回の行政視察を行いました。他自治体の文化施設を視察する中で、現在の安来市民会館がいかに市民の要望を満たしていない施設かということ強く感じました。ハード面のみならず、ソフト面においても同様のことを感じました。

検討委員会では、3回に渡って開催された市民ワークショップからの意見も考慮

しながら、こういった施設が必要なのか、こういった取り組みが必要なのかを議論してきました。市民ワークショップからの意見にも、新たな市民会館に対し市民の皆さまが寄せる期待の大きさが伝わってきます。

ただ、現段階で財政面も含めた市の具体的な運営方針が見えない中では、これらの議論も絵に描いた餅になる危険性も含んでいます。

今後50年にわたり使用される市民会館が、市民に親しまれ、また市民に愛される施設となるには、市全体が本気になってこの事業を進めていく決意がなければならないと感じます。

【施設全般に関する提言】

これからは次代を担う子ども世代を始め、市民だれもが音楽、演劇、地域の伝統芸能など幅広い分野の質の高い文化芸術作品に触れる機会の提供が望まれます。また、これまで文化芸術活動に接点のなかった人、関心の薄かった人などにも文化芸術に触れる機会を届け、文化芸術の活動者・理解者・支援者などを増やしていく必要があります。

新たな施設は、市民だれもが文化芸術活動を鑑賞、参加、体験を通してより活性化させるための施設となる必要があります。さらに市の文化芸術活動の中核として地域の情報を集約し、文化活動やまちづくりに関する拠点として、市内各地の関連施設との役割分担を図っていかれることを提言します。

【大ホールに関する提言】

最も重要な部分であるが、座席数について600席から1,000席までと幅広い意見がありました。集会施設的な機能を求めるのであれば、1,000席程度も考えられるが、現在の市民会館の利用状況を勘案すれば利用回数は少ないと言わざるを得ません。委員会で県内外の施設を視察するなか、1,000席までの大きいホールはいらないという声や、市民利用を考えた文化施設的な面からは800席程度で十分とする意見が多くありました。また、多目的な活用を図るうえでも、一部可動席にしてはどうかとの意見もありました。

ホールだけでなく、楽屋や舞台設備、搬入口など利用する人の立場に立った配慮が望まれます。

また座席数と連動して駐車場の確保という問題もでてきます。席数を多くすればするほど駐車場台数も多く確保する必要があります。

総合的に色々な面から検討され規模を決定されることを提言します。

【小ホールに関する提言】

ホールの中で最も利用が多いと想定される小ホールは、単一機能ではなく多目的に使用できるようにという意見が圧倒的でした。ロールバックチェアを備え、ホールとしての利用のほかに平土間として会議やレセプション、展示室等多目的に利用できるホールとされるよう提言します。

【展示ホール・練習室・会議室に関する提言】

市の保有施設で200人～300人規模の会議室がない状況において、今回建設される施設には小ホールの収容人員と同じぐらいの規模の会議室が望まれます。

また使用にあたっては、間仕切りにより中、小会議室としても利用できるよう柔軟な使い方のできる会議室を設置されるよう提言します。

【託児室・カフェ、レストラン、その他諸室に関する提言】

諸機能について、一番関心が高かったのはトイレです。洋式化はもちろんのこと、数の面、多目的トイレの設置等、十分な配慮が求められます。また、施設全般に言えることですが、年齢や障害の有無などにかかわらず、最初からできるだけ多くの人々が利用可能であるようにユニバーサルデザインを取り入れることを提言します。

【駐車場に関する提言】

現在の市役所周辺の公共施設は、慢性的な駐車場の不足に悩まされています。

新たな施設は郊外への建設であること、また十分な敷地を確保できることが想定されます。以上のことから駐車場については、基本構想にもあるように収容人員の半数程度の台数確保は必要と考えます。施設規模と駐車場のバランスをよく考慮され、収容人員は多いが駐車場が足りないといった状況にならないよう十分に検討されることが必要です。

また、駐車場から建物までの距離が長いことが想定されます。駐車場から屋根があるような通路の設置があれば、降雨の際にも住民が安心して来ることができそうです。色々な面から検討され決定されることを提言します。

【施設運営に関する提言】

本来であれば、市が現段階から完成後の事業展開をどう考えるのかということが重要な点となります。文化ホールは建設して終わりではなく、むしろそこからどのように運営していくかが大きな鍵となります。

現在の市民会館は貸館がほとんどですが、新たな施設には市全体の文化振興を担う拠点施設として運営を行うことが強く望まれます。

そういった面から、文化振興に対する市の決意が必要となってきます。

開館後、当面は直営方式を考えておられるようですが、核となる人材の育成も重要な要素となってきます。

ただ、単にお金を掛ければ良いというものでもなく、市民と一緒にアイディアを出し合い充実した活動ができる体制づくりをされるよう提言します。

【主な意見】

1. 市民会館の施設機能について

※文書末尾に（WS）とあるのは市民ワークショップからの意見

【全般】

- ・文化の情報発信の中心施設として期待したい。
- ・市民会館が、小・中・高校の文化祭や校内音楽会などに気軽に利用したり、文化庁などの芸術の派遣事業を招聘したりすることを通して、若者の感性の育成の寄与に期待している。
- ・催しものがない時にも、皆さんが立ち寄りになれるようなところが市民会館ではないだろうかと思う。年に一度は何かの会議をしたり、お茶を飲みに来たり、展示があるので寄ってみるなど、来やすいということであればジュース一本でも買いに来られる可能性もある。駐車場と併せて、どうしたら皆さんが来てくれるかを考える必要がある。
- ・安来市はホテル機能がなく、パーティや祝賀会ができないので、それができるような市民会館が必要である。
- ・大ホールや小ホール、会議室を使うことによって安来市内でも県レベルのイベントを開催できる機能が必要ではないか。
- ・現在の市民会館では中学生、高校生の吹奏楽は力が発揮できない状況。箱モノを文化の薫るものにしないと生徒の感性が育たないのではないか。
- ・市民会館は多目的ホールの役割が多いと思うが、多目的な要望を叶えようとすると全てが中途半端になり、全ての人が不満足になる。音楽、演劇などに使う人が満足する施設を作るべきではないか。
- ・大小2つのホールは必要だと思う。
- ・市民会館の位置付けについて、単なるホールというだけでなく、災害時の避難拠点のアクセスや集合場所についてなど、含みを持たせて多目的に使えるホールということを加えてもいいのではないか。
- ・ホールや市民会館が持つ機能として、日常性と非日常性という見方で考える必要がある。ホールは文化の中心になり人が集まってくるような施設にしないといけない。何十年も経っていくなかで集まってくる人たちが育っていく人づくりができる施設が必要。日常的な人づくりの場として、練習室や小ホールを使い、そこを使いこなしていく中で人が育っていく。大ホールは非日常的な舞台の場所として考え、日常的に人が集まっていったの非日常的な舞台を生み出すというような方向性も考えておく必要があるのではないか。また、いろいろな団体のミーティングルームのような場所があると非常によい。活動が終わってから話し合う場というものが、そして倉庫などがあると大変便利。
- ・館内の移動はスムーズにできる必要がある。動線がわかりやすく、物の移動が

できるようにそれぞれの諸室の配置を考えてほしい。

- ・建物周辺一帯が「文化プレイス」としての機能やたたずまいを備えた、憩いの場となるような全体像が望まれる。目的が大きく異なる給食センターと隣接しているため、ただ土地をシェアするのではなく、住み分けにかなり配慮が必要であるとする。
- ・予算との兼ね合いもあるが、建物や備品の質を下げると、使用者の満足感に影響し、また、老朽化が早まる事例もある。文化施設としての、ある程度の質感が望まれる。

【大ホール】

- ・ホールは 600 席で十分ではないか。
- ・舞台裏の空間について、安来節演芸館や市民体育館、市民会館は舞台裏の上手から下手へ移動しにくいので、新しい市民会館は演じる人にとって使いやすい舞台にしてほしい。観客席とは関係なく、裏側のしかけは広いほど演じるものにとっては使いやすい。
- ・人口がどんどん減っていく中で、多額の持管理費がかかっている。たくさんの機能を使いこなせるのか疑問を感じる。大ホールの規模は 800 席が良いのではないか。1,000 席はお金がかかりすぎる。
- ・ホールの規模については稼働率が非常に重要だと思う。800 席が適当である。
- ・1,000 席は利用者も運営者も負担が大きいのではないか。県民会館の中ホールは 700 席であるが、稼働率が高く、映画や演劇も開催できるので、そのくらいの規模が一番使いやすいと思う。
- ・規模は 800 席が良いと思う。使用者からすると 1,000 席だと「怖い」など、敬遠される可能性もある。
- ・安来市小中学校連合音楽会での児童・生徒・保護者の収容数から、最低 800 席は必要である。
- ・中・高校の音楽会等を開催するには、800～1000 席あれば、保護者席も十分確保できる。
- ・客席規模は 800 席が一番よいと思うが、大きなイベントを開催した時に席が足りないということになると市民の意見として不満の声が出てくるので、やはり 1,000 席にしたほうが良いと思う。ただし、維持管理経費はかかる。
- ・米子市と松江市の狭間にある安来市で、1,000 席規模のホールを市民に利用してもらえるか気になる。
- ・歌謡ショーを上演すると人が入るので 1,000 席は必要だと思う。
- ・全国安来節大会に約 1,000 人の来客があるので、せつかくホールを建てるのであれば 1,000 人規模の大ホールは必要である。

- ・ステージの広さや反響板も含めて音響の良さ最新の照明設備、きちんとした椅子、譜面台、ピアノ、11tトラックが入るかどうかなどが重要。
- ・ホールは1つで良い。その分、駐車場を多くして、ホールは多目的で可動席にしてほしい。
- ・1階部分を可動席にするといろいろな催しに使える。
- ・大ホールの客席の一部可動化は、賛成できない。中途半端なものとなる可能性がある。
- ・市民会館の大ホール客席は2階建て構造にして、1階はフラットにした方が使いやすいのではないかと思う。
- ・生音でピアノの演奏会をする時に、残響時間がどれくらいあるホールなのかも考慮したうえで設計をしてほしい。大きさよりも質を望む。
- ・オーケストラピットはバレエをする際等使用するが、バレエの公演は非常にお金が高くて、おそらく1,000席前後のホールではペイしないと考えられる。ほとんど使うことはないので、オーケストラピットはなくても良いのではないか。
- ・県民会館ではオーケストラピットをミュージカルで年2回ほど使用した。オケがステージに上がってしまうと音が大きすぎるという面もあるが、回数にしたら多くない。ランニングコスト面を考えるとなくても良いのではないか。
- ・楽屋には出演者専用のトイレが必要。(WS)
- ・車椅子席用の席の場所を固定しないようにしてほしい。観客席中央に車イスが自由に選択できる場所を。(WS)
- ・家族用の席(小さなテーブル付きなど)(WS)
- ・2階にも客席が少しほしい
- ・ピアノやティンパニーなどの大きな楽器の平面移動がスムーズにできることが必要である。
- ・楽器搬入口が、ステージに連結していることは重要である。吹奏楽オーケストラの大型楽器の搬入や経路にも配慮願いたい。
- ・音響反射板は絶対に必要である。
- ・舞台袖、奥行きはできるだけ広くすべきである。

【小ホール】

- ・多目的が大前提。練習室も多目的室や多目的ギャラリーで良いのではないか。
- ・小ホールは会議室と兼ねてもよいのではないか。年間の維持管理費を考慮し、市民が納得できる使い方を。
- ・ホールは多目的型で、支援系機能として会議室(大中小)を備えたものにしてほしい。
- ・小ホールとリハーサル室(ギャラリーという意見もあり)を兼ね備えるなど、

一つの部屋で多目的な使い方ができるような設計が必要。

- ・懇親会や祝賀会もでき、会議室では総会等もできるような施設が必要。そのためにはパントリー（食料品、食器類を貯蔵する部屋）も必要。
- ・ホール内で会食できることが一番理想である。現在、安来市内では飲食できる場所がないので、別の市町村の施設を借りている状況である。市内で飲食できるようにすべきではないかと思っている。
- ・小ホールは 300 席程度で良いのではないか。
- ・照明設備を充実することや、プロジェクターの設置なども必要である。
- ・小ホールは、発表会などでの使用頻度が高いと思われる。可動式客席は、使い道が広がるのでよいが、客席に人が入った時の音響が悪くなる事例があるので、音響に配慮願いたい。
- ・上から見下ろすことになるので、客席とステージの距離や、ステージの広さも、十分に検討する必要がある。
- ・小ホールにも、グランドピアノが必要。

【展示ホール】

- ・可動式のパーテーションが必要（WS）
- ・展示系機能、多目的ホールとし、仕切りが目的に合わせ移動出来るように（WS）
- ・かつて現市民会館にもあったような、郷土文化人の作品を常設展示できる設備があると良い。また準備室を併設し、子供たちの学習のための図書コーナー等も必要である。
- ・諸団体の大会を市民会館で開催する場合、分科会会場が複数必要となる場合がある。展示室が、分科会などにも活用できるよう、スクリーン、机、椅子などがあれば良い。

【練習室】

- ・練習室は舞台と同じ大きさがあれば良いが、舞台に限定せずいろんな意味で多目的室でいいと思う。
- ・練習室の機能について、多目的は無目的ではなく、いろんなことに対応できるという意味で多目的なので、ある程度専門的に機能も必要である。
- ・練習室は多目的室や多目的ギャラリーで良いのではないか。
- ・練習室や会議室は一つの部屋を多面的に利用できるような使い方をすべき。展示にも会議にも研修にも利用できるようにすべきである。
- ・大きな部屋（練習室）はリハーサルも行えて、鏡も必要である。
- ・定期的な練習で使うことになると、楽器や譜面台など大きな物が入るような部屋や倉庫が必要だと思う。大型楽器には広いスペースが必要になる。

- ・防音に対して十分配慮すべきである。
- ・壁の色は、できるだけ明るい色がよいと思われる。防音の部屋が黒系の壁の色の施設があり、大変圧迫感を感じた。

【会議室】

- ・大中小の会議室を広げたら一括で大きく使えるような有効利用型の会議室にしてほしい。
- ・会議室（大中小）とあるが、大きな部屋を間仕切りで区切って、それぞれ個室で使えるようにするとよいのでは。例えば、大が 150 人、中が 100 人、小が 50 人、間仕切りを取ったら最大 300 人というように。
- ・照明や音響設備を充実することや、スクリーン、プロジェクターの設置なども必要である。

【託児室】

- ・託児室と書いてあるが、託児室がいいのか、今のように後ろの親子室で一緒に見るようなのがいいのか。託児室だと人を採用する必要があるので、そういうことも考慮して考えないといけない。
- ・素足で遊べるキッズルームがあると良い（WS）

【レストラン、カフェ】

- ・県民会館で会議をして、会館の下のパン屋さんからコーヒー運んでもらうことがある。何もないと自販機の缶コーヒーになるが、例えば喫茶店のような機能があれば、会議でコーヒーを出してもらおうとか、コンサートのゲストにコーヒー出してもらおうとか、大きなイベントがあっても使えるような何かがあればいいと思う。
- ・常設が理想であるが、イベント開催時に委託で営業できるような形態でも良いと思う。

【その他】

- ・エレベーター、バリアフリー、トイレなど障がい者の方も利用できるようにしてほしい。
- ・トイレの数は多いほうがよい。
- ・障がい者用トイレは必ず各階にほしい（小さい子どもさんのためにも）（WS）
- ・記念のモニュメントは必要ない（WS）
- ・ホワイエはイスを多く、ゆったり座れるソファがあると良い（WS）
- ・大きな窓で、安来の自然（大山も）が眺められるように（WS）

- ・ホールでの演奏だけでなく、ロビーや屋外コンサートなど市民参加イベントが気軽にできるよう整備しておくこと、市民が親しまれる施設となるのではないかな。
- ・建設後、運用する中で不都合な部分や補修、改修に対して設計者との調整がつかないケースが他の館で見受けられる。契約にあたって不利にならないよう考慮すべきである。
- ・ピアノは管理を怠ると傷みが激しく、いい演奏家の招聘が難しくなるので、楽器庫は、温度や湿度の管理ができるよう配慮をお願いしたい。

2. 駐車場について

- ・十分な駐車場の確保は、市民会館の有効利用には必然である。客席数に見合った駐車場の確保をすべきである。
- ・建設場所は川を挟んでいるが、駐車場から建物までの距離が結構長い。雨が降った時に駐車場から屋根があるような通路があると安心して人が来られると思う。川があり、たくさん橋をかけるわけにはいかないので、駐車場のあり方も考える必要がある。
- ・駐車場は収容人数の半分は確かに必要だと思う。ホールを大きく作り、車を駐車するところがないと、絵に描いた餅になる。
- ・駐車場について。重い荷物や体が不自由な場合、駐車場が近いほうがよい。(WS)
- ・自転車置き場も必要である。常時使用できる屋根付きの駐輪場と、中高校生などが使用する時には、その周りに駐輪に使用できるスペースを確保すべき。

3. 施設運営について

- ・建設して終わりではなくランニングコストなども検討していく必要がある。
- ・視察先のホールは文化振興担当がチームを組んで真剣に事業に取り組んでいて稼働率が高かった。そういう体制がないと稼働率の向上は確保できない。市全体で振興していく決意がないといいものは出来ない。
- ・一番重要なのはハードではなくソフト面。これから小中高校生をこの地で文化的に育てていくことになることになると、何をこの地に呼ぶのが最も重要になる。
- ・ランニングコストで一番かかるのは電気代であるということだった。ハードのときは補助金等が使えるが、ランニングコストのときは違ってくる。照明にLEDを使ったり、太陽光発電などを考えたほうが将来のランニングコストを縮減するためには良いと思う。
- ・メンテナンスを計画的に実施し、いい状態で長く使える施設であってほしい。
- ・運用面では、教育関係の使用について、各自治体の実施している無料化や減免等の支援をお願いしたい

安来市民会館建設検討委員会の経過

- 平成25年 7月 3日 安来市民会館建設検討委員委嘱
第1回安来市民会館建設検討委員会
 - ・検討委員会の位置付け及び経過確認
 - ・切川地区開発及び安来市民会館（仮称）スケジュール確認
 - ・基本構想及び基本計画の構成について
- 平成25年 7月30日 視察（福岡県、大分県）
～31日
 - ・黒崎ひびしんホール（福岡県北九州市）
 - ・なかまハーモニーホール（福岡県中間市）
 - ・パトリア日田（大分県日田市）
 - ・サザンクス筑後（福岡県筑後市）
 - ・おりなす八女（福岡県八女市）
- 平成25年 8月 8日 第2回安来市民会館建設検討委員会
 - ・視察報告
 - ・第1回市民ワークショップ報告
 - ・安来市民会館（仮称）機能図（案）について
 - ・基本計画（部分案）について
- 平成25年 8月21日 視察（島根県）
 - ・悠邑ふるさと会館（川本町）
 - ・江津市総合市民センター（江津市）
 - ・平田文化館（出雲市）
- 平成25年 8月30日 第3回安来市民会館建設検討委員会
 - ・視察報告
 - ・基本設計プロポーザルの概要について
 - ・安来市民会館（仮称）機能図（案）について
 - ・基本計画（部分案）について
- 平成25年 9月24日 第4回安来市民会館建設検討委員会
 - ・第2回市民ワークショップ報告
 - ・基本設計プロポーザルの状況について
 - ・安来市民会館（仮称）機能図（案）について
 - ・基本計画（部分案）について
 - ・提言書（案）について
- 平成25年10月 7日 第5回安来市民会館建設検討委員会
 - ・第3回市民ワークショップ報告
 - ・提言書（案）について
- 平成25年10月21日 石橋委員長、藤原副委員長、提言書を市長に提出

【安来市民会館建設検討委員会委員名簿】

役職	氏名	所属団体
委員長	石橋 富二雄	安来市自治会代表者協議会会長
副委員長	藤原 常義	NPO法人さくら総合スポーツクラブ理事長
委員	足立 好徳	安来地域介護保険サービス事業者連絡会事務局長
〃	金崎 智枝	島根県吹奏楽連盟安来支部支部長 (安来市教育研究会音楽部長)
〃	小松原 直樹	安来市労働組合協議会議長
〃	角 久夫	安来市音楽協会副会長
〃	妹尾 匠	一般社団法人安来青年会議所理事長
〃	成相 二郎	安来節保存会専務理事
〃	西尾 俊也	島根県民会館館長
〃	間 泰治	安来市商工会副会長
〃	原 庸一	安来市文化協会副会長
〃	細田 輝久	安来商工会議所専務理事
〃	三島 祐司	安来高校吹奏楽部及び弦楽部教諭